

市民がつくる環境都市こまき

# こまき環境広報

編集:こまき環境市民会議

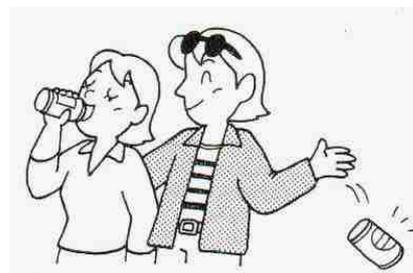
環境都市の市民なら、これだけは

**必読**
**知っておきたい**
**実行してほしい**

## なぜ条例までつくって清潔なまちづくりなのでしょうか？

汚れたまちが恥ずかしいのではありません。こどもたちの成長の妨げになるからです。捨てられたごみがいつまでも散らばっておれば、こどもたちはそれを当たり前として育ちます。まちの汚れが心の荒みになり、非行・犯罪の引き金にもなるからです。

子育てに大切な3つの環境を知っておきましょう。それは、明るい環境、静かな環境、そして清潔な環境です。しっかり覚えて実践しましょう。



汚れたまちではこんな子が

## 市民として実行することは何でしょうか？ まずは次の2つ

### その1 おうちまわりの道を清潔にする



気付いたゴミは拾いましょう

毎日お世話になっている玄関に通じる道。おうちまわりは市民の責任において清潔にしなければいけません。市民の誰かが捨てたごみです。市や県の仕事にはいけません。

ごみがあれば拾い、雑草が伸びれば取り除く。そんな思いやりの心を持ってこそ環境都市の市民です。おうちまわりが汚いのは身のまわりの環境に無関心なあかしです。

調査によれば、市民の50%がおうちまわりに無関心です。環境都市の市民としていささか寂しい思いがします。

### その2 犬のふんは必ず持ち帰る。放置常習者が分かれば通報を。

小牧市内には1万頭以上の飼い犬がいます。ペットを連れて散歩する市民も増えました。苦情も増えました。ふんの放置がいけないことは誰もが分かっていること。にもかかわらず放置が後を断たない。ふんの放置は最も悪質なルール違反であり、マナー以前のモラル（道徳心）の問題です。悪質な常習者を見つけたら市へ通報してください。


**電話:76-1147 廃棄物対策課**

## 〔解説〕

### 掃除とは、心を掃くこと



掃除のあとは、気持ちいいよね

日本人は古来、掃除を大切に考えてきました。お坊さんの修行は掃除から始まった。神社仏閣は常に掃き清められている。商家においても丁稚の最初の仕事は掃除。掃除が日本人の心を鍛えてきた。掃除はまぎれもない日本の文化です。

イエローハットの創業者、鍵山秀三郎氏はいう。「人は毎日接するものに心が似ていく。美しいもの、清潔なものに接していると気持ちもそうなり、汚いもの、乱れたもの、雑なものに接してお

れば、心もそのように染まっていく」。そこに清潔なまちづくりの大きな意味があります。

### 高山のまちに学ぼう！

高山市には、ポイ捨てに関する条例はありません。

職員に問えば、「まちにはごみがありませんからその必要がありません」。なるほど、市内のどこを歩いてもごみが見当らない。市民に聞けば、口々に「市民は捨てません。観光客が捨てたごみは、みんなが拾っています」という。さらに「きれいなまちは高山市民の誇りです」と。何と高いモラル！

観光都市だから仕方なしに、ではない市民のすばらしい美質を感じます。おうちまわり美化は心がけの問題。高山を越えることはできなくとも、近づくことはできるはず。



ゴミ一つ落ちていない清潔な高山のまち

### おうちまわりとはどういうこと？



無関心！おうちまわりがこれでは恥ずかしい

おうちまわりとは、住居まわりだけではありません。お店も、事務所も、工場も、学校も、さらにはスポーツ施設のまわりも、駐車場まわりも全て「おうちまわり」です。そのおうちまわりの道が清潔になれば、小牧は高いモラルに支えられた環境都市へ大きく前進します。

スポーツ施設などでは、利用者がみんなでぐるりと見回ればすぐにきれいになります。こどものスポーツ団体では、心育てのために、特にこのことを奨励します。

### ペットのふんの違反行為とは何でしょう？

条例では、ペットのふんの取り扱いについて次のように規定しています。

道路、公園、広場、河川、他人が所有、占有、管理する土地、建物、工作物などに放置、投棄してはいけない。埋めても、ラミネート袋などに入れて投棄してもいけません。持ち帰って自分の家でトイレに流すなど、後始末をしっかりとしましょう。罰則は2万円以下の罰金です。

**人は環境をつくり、環境に染まります。次の世代のためにも環境にやさしい市民でありたいものです。小牧は環境都市宣言のまちです。**